

保健体育科学習指導案

平成18年2月23日(木) 第6校時

2年1・2組(男24名・女22名) 指導者

- 1 保健体育科研究テーマ 「ひとりひとりの実態に応じた学習指導」
- 2 研究テーマ 「楽しく学ぶ授業の工夫」

バレーボールは、チーム内で互いに協力してボールを落とさずつなぐ所に集団的スポーツとしての楽しさがある。また、レシーブやスパイク、サービス等が上手くできたことに個人的な喜びを感じることができる。このように、個人だけでなく集団としても十分に楽しさや充実感を味わえるスポーツである。したがって、授業展開では常にゲームを意識させながら、個人技能を高める工夫をすることで「楽しく学ぶ授業」に取り組もうと考えた。

3 小中一貫教育との関連

- ・自己を正しく理解するとともに、他者の様々な個性を尊重し、互いに認め合いながらよりよい生活をしようとする能力(自己理解・人間関係づくり・個性の伸長)
- ・様々な場面や状況に応じて、自分の考えや判断を適切に伝えたり、相手の考えを理解しながら望ましい人間関係を構築する能力(コミュニケーション力・表現力)

4 単元名 「球技(バレーボール)」

5 単元目標

- (1) チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) チームの課題や自分の能力に適した課題の解決をしようとしている。(思考・判断)
- (3) 個々の技能やチームの作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。(技能)
- (4) バレーボールの特性や技術の構造、合理的な練習の仕方やルールを理解している。(知識・理解)

6 単元計画(本書掲載に際し略)

7 本時の指導

(1) 題材名 基本技能の確認と練習1

(2) 目標

ア 互いに教え合い、協力し合いながら練習ができる。(関心・意欲・態度)

イ 各自が課題を認識し、その課題解決をすることで技能の向上を図ることができる。(思考・判断、技能)

(3) 生徒の実態

女子バレーボール部員が4名いるが、小学校でのバレーボール経験者はなく、1年時に授業で経験した程度で、技能はあまり高くはない。体育の授業で「バレーボールが好き」と答えた生徒は約70%で、比較的興味を持って取り組んでいる。どんな技能を身に付けたいかという質問には、スパイクやパス、レシーブ、ブロック、サービスなど生徒によってまちまちであるが、中でもパスが一番多い。これはバレーボールにおけるパスの重要性が理解できており、できるだけゲーム中のラリーを続けたいという気持ちの表れだと思われる。

(4) 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点 と 評 価
1 準備運動をする 2 あいさつ・健康観察をする 3 本時の学習内容とねらいを確認する	10 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・基本（手の形等）を意識して、正確に行わせる ・大きな声であいさつをさせる。服装の確認をする 健康状態の把握をする。見学者へ指示をする ・学習内容とねらいを確認し、本時への意欲を持たせる
4 基本技能の確認と練習をする ①基本練習 ・移動パス1（グループ別） ②発展練習（ネットをはさんで） ・移動パス2 ・パスゲーム	7 23	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の課題を意識させて練習させる （導入時に各自の課題を確認する） ・ポイントを確認させる ①オーバーパス…手の形 ②アンダーパス…ひざを曲げる、ボールを当てる場所 *高いパスができるように努めさせる ・声を出して、チームで協力して行わせる ・ポイントを確認させる ①声を出す ②チーム内で協力 ・ポイントを確認させる ①声のかけ方の工夫 ②個人の特長を生かす（ポジションの工夫） ・モデルになるようなチームに発表させる ※ 話し合いの時間を設け、チーム内でアドバイスや工夫をさせる
5 片付け・本時のまとめをする 6 あいさつをする	14	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいが達成できたかファイルに反省をまとめ、発表させる ・正しい礼法であいさつをさせる

